

資源管理型漁業推進総合対策事業調査

1. 広域回遊資源：日本海北ブロック 第Ⅰ期 補完調査

(抄録)

山 田 嘉 暢 ・ 十 三 邦 昭

天然資源調査 (対象魚種 ヒラメ、マガレイ、マコガレイ)

○ ヒラメ

漁獲統計調査

1. 青森県日本海沿岸におけるヒラメ漁獲量の経年変化

青森県日本海沿岸におけるヒラメの漁獲量は、昭和37年以前は100トン未満で推移していたが、昭和38年から増加傾向を示し、昭和44年には過去最高の406トンに達した。昭和43～51年にかけては300～400トン前後の高水準で推移していたが、昭和52年以降減少傾向を示し、平成2年には過去最低の43トンまで減少した。その後増加傾向を示し、平成7年は144.2トンに達した。

2. 平成7年青森県日本海沿岸におけるヒラメの月別漁法別漁獲量

平成7年青森県日本海沿岸におけるヒラメの漁法別漁獲量は、定置網（底建網を含む）83.8t（58.1%）、沖合底曳網21.2t（14.7%）、刺網15.6t（10.8%）、一本釣り3.5t（2.5%）、その他20.1t（13.9%）であった。

○ マガレイ

漁獲統計調査

1. 青森県日本海沿岸におけるカレイ類漁獲量の経年変化

青森県日本海沿岸におけるカレイ類の漁獲量は、昭和35年から42年にかけては150トン前後で推移していたが、昭和43年から増加傾向を示し、昭和45年には599トンに達した。その後やや減少したが昭和51年には過去最高の606トンを記録した。しかし翌年から減少傾向を示し昭和58年には237トンまで減少したが、昭和59年から増加傾向を示し、昭和61年には408トンまで回復したが、その後は漸減傾向で、平成7年は263.9トンまで減少した。

2. 平成7年青森県日本海沿岸におけるマガレイの漁法別漁獲量

平成7年青森県日本海沿岸におけるマガレイの漁獲量は73.2tで、漁法別では定置網（底建網を含む）52.9t（72.3%）、刺網6.9t（9.4%）、沖合底曳網6.8t（9.3%）その他6.6t（9.0%）であった。

○ マコガレイ

漁獲統計調査

平成7年青森県日本海沿岸におけるマコガレイの漁法別漁獲量

平成7年青森県日本海沿岸におけるマコガレイの漁獲量は25.9tで、漁法別では沖合底曳網14.5t（55.9%）、定置網（底建網を含む）9.7t（36.9%）、刺網1.9t（7.2%）であった。